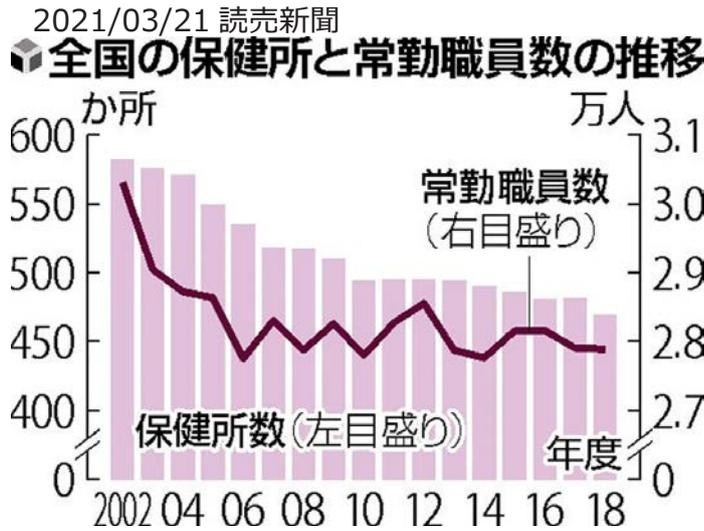


“今こそ闘い必要 ストライキ!” すべての自治体労働者は11・7日比谷へ!

保健所労働者の訴え

自治体労働者の闘いで破綻を明らかに



担増になっ
ています。
激務の中で
心身ともに
追い詰めら
れていま
す。
残業時間
規制は保健
所では全く
守られてい
ません。労
基法違反が
まかり通っ

【闘わないとはきりしない】
「災害レベル」という
首長がいますが、公務員
を減らし、感染対策を縮
小し、保健所を減らして
きた人災であり、政治の
問題です。

もうけが優先、人の命
を軽視した資本主義社会
の結果です。自治体労働
者は資本主義を維持する
立場、でも破綻を明らか
にできる側でもある。

保健所や自治体はこんな
状況になってしまったの
ではないか。

保健所の体制や感染症
対策を強化させるため
に、市民と職員を守るた
めの闘いとして休もう。
そして、必要な体制を強
制しないとイケない。

いま保健所で声を上げ
ることは、国の体制に屈
服しない、戦争に協力し
ないのと同じ質の闘いだ
と思います。この怒りに
は圧倒的な正義がある。

【今こそ労働組合の出番】

今こそ闘いが必要で
す。ストライキで闘える
自治体労働運動を私たち
が作ろう。退職や病休で
はなく、団結して闘おう。
労働組合の出番です。闘
う労働組合を甦らせる時
です。すべての仲間は
11・7日比谷に集まろう。

【職場は過労死寸前】

保健所の感染症対策の
部署で働いています。い
つ過労死する人が出ても
おかしくないという危機
感でいっぱいです。

入院できない状況は健
康観察をする保健師の負

ています。

五輪強行でワクチン
担当は5月に200時
間以上、6月も180
時間レベルの残業が発
生しています。全国の
保健所は超過勤務で成
り立っています。